



京都府保育士会だより

令和4年度 第2号

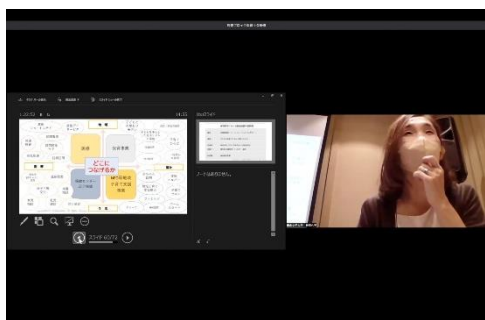
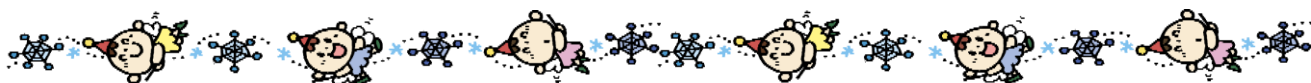
発行責任者
 (一社) 京都府保育協会
 京都府保育士会
 会長 笠置 英恵
 (今里こども園)

コロナと共存する生活が当たり前になり、マスク生活も続いています。日々一緒に過ごしている保育士の顔もわからないまま育っていく子どもたちに何か弊害はないのか、と感じます。

令和4年もあと1か月余り…

くる年は、「こども家庭庁」が動き出し、その翌年は「こども大綱」の策定「児童福祉法改正」と保育士、保育教諭はさらに専門性を求められる状況が予想されます。

近畿ブロック保育士会でも zoom でキャリアアップ研修を行いました。



「子どもの最善の利益を保障する保育・子育て支援とは」
 ～ウィズコロナ時代における妊娠期からの切れ目のない支援～
 鎌倉女子大学 准教授 榊原 久子先生

出生数の激減と、新しい生活様式の中での子育ての課題と現状を、周産期と育児臨床から見えてくること、初産婦と経産婦のリスクの比較や児童虐待、医療的ケア児の増加など具体的な現状から今、保育所・認定こども園等に求められていることを講義いただきました。そして産前産後からの切れ目のない支援をしているフィンランドのネウボラの視点の重要性についても熱く語っていただきました。

全国保育士会では、今年もWEBで「全国保育研究大会」奈良大会を行いました。

WEBでの研究大会ではありましたが、奈良らしさを出すために司会の先生が飛鳥衣装を着て登場するなど、工夫を凝らした演出でした。

8つの分科会では、助言者の先生のもとで1年間じっくりと研究した成果を発表されました。

来年は静岡で参集し行われます。

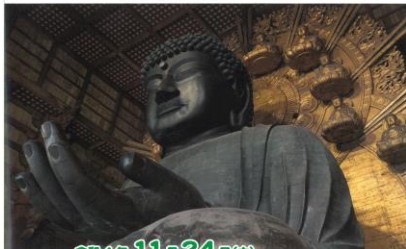
京都府保育士会は来年度、第6分科会「保育所・認定こども園等における保護者支援」で研究発表する予定です。

今年参加できなかった方も来年はぜひ静岡県での研究大会にご参加くださいね。

第55回

全国保育士会研究大会

すべての子どもの育ちを支える保育の実現
あをよし
奈良のみやこに願いしは
わらべを養う人(ゆかりびと)かな



令和4年11月24日(木)

- 実施方法 Zoomを使用したオンラインによるライブ配信
- 配信場所 奈良コメンションセンター (奈良県奈良市)
- 主催 社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国保育士会/全国保育協議会 奈良県保育協議会
- 協賛 全国保育士会 奈良県保育士会
- 後援 厚生労働省 奈良県/奈良市 社会福祉法人奈良県社会福祉協議会

対面開催

第49回 全国保育士研修会

開催要項

1 趣 旨

昨年、国に設置された「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会」では、「多様なニーズを抱えた保護者・子どもへの支援」「保育所・保育士等による地域の子育て支援」「保育士の確保・資力向上等」などを重点に議論が行われ、その議論も踏まえて「改正児童福祉法」が成立し（令和4年6月）、保育所や認定こども園が、地域の子どもや子育て世帯の身近な相談先となること等が期待されています。

保育現場においては、子どもの安全を守る取り組みはもちろん、新型コロナウイルスも踏まえた育ちを保障する保育や子ども主体の保育の実践、配慮を要する子どもへの保育など、その専門性とこれまでの経験を活かした保育内容の実践が求められてきています。加えて、地域の子育て支援に向けた取り組み等、社会の変化に対応した保育と広報・情報発信も期待されています。

それらに応えるためには、保育士・保育教諭等の専門性の発揮が不可欠であり、主任保育士・主幹保育教諭等のリーダー的職員には、保育士・保育教諭等が専門性を発揮できる環境の構築や育成、職場環境との連携等において中心的役割を担うことが求められます。

本研修では、子どもの豊かな育ちを実現するために、保育をとりまく諸課題や制度に関する理解・共通認識を深め、主任保育士・主幹保育教諭等リーダー的職員の知識・技術、専門性の向上をはかります。

2 期 日 令和5年1月26日(木)～27日(金)

3 会 場 新横浜プリンスホテル
〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4 (新横浜駅から徒歩約5分)

4 対 象 主任保育士・主幹保育教諭 および
保育所・認定こども園等のリーダー的職員

5 定 員 300名 (定員より次第締切らせていただきます)
※ 本研修会の参加形式は、参加費のみです。

6 参加費 15,000円 (全国保育士会会員および全国保育協議会会員は別途の優待)
20,000円 (その他の一般参加者)

7 主 催 社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国保育士会/全国保育協議会

8 実施主体 全国保育士会

9 後 援 厚生労働省 (予定)

10 日 程

9:00	12:00	12:00	13:15	17:30
1/26 (木)	コース別研修 (2コース)	昼 食	会 議	全体研修
1/27 (金)				

11 プログラム

【第1日目】

時 間	内 容
12:00～13:00	受 付
13:00～13:15	開会式
13:15～13:45 (30分)	基調報告 全国保育士会の取り組みについて 報告者：全国保育士会 会長 村松 幹子
13:45～14:45 (60分)	行政説明 保育をめぐる国の動向と課題 (仮題) 講 師：厚生労働省 子ども家庭局 保育課
14:45～15:00	休 憩
15:00～17:30	全体会 (鼎談) 子どもの小さな変化・成長・発達や心の動きへの 気づきの視点を学ぶ (仮題) 保育の質の向上には、保育者の観察力や感性が欠かせません。また、子どもたちに毎日接する保育者には、子どもたちの日々の言動にどんな思いや心の動きがあるのかを考えることが必要とされています。 本鼎談では、保育者だけでなく保育を専門としない方にもご登場いただき、子育て、子ども等について語っていただくことで、ふだん見過ごしがちな子どもの小さな変化・成長・発達や心の動きへの気づきの視点を学びます。 登壇者：池谷 裕二氏 (東京大学薬学部 教授) 木坂 涼 氏 (詩人、絵本作家) 村松 幹子 (全国保育士会 会長)

【第2日目】2コース

時 間	内 容
9:00～12:00	コース別研修 Aコース 社会的孤立にある複合的な課題を抱える 子育て家庭への支援とは (仮題) 講 師：星山 麻木 氏 (同志大大学院教授) 家族のありかたや価値観等が多様化するいま、配慮を要する子どもやその家庭のありようもさまざまになっています。保育士・保育教諭等は、保護者や子どもと日常に接する立場にあるため、保護者の考え方や視点、また、それに対応する姿勢や気づき、その専門性を活かした支援を行うことができる立場にあります。 本コースでは、とくに「気になる子ども」や「気になる保護者」のなかかわりに焦点を当て、保育士・保育教諭等に求められる役割や相談、連携を学ぶとともに、多様な価値観・価値観による地域全体での子育て支援環境に向けた相協的な支援体制づくりについて学びます。
	Bコース 子どもの主体性を育む保育 (仮題) 講 師：川田 学 氏 (北海道大学大学院教育学研究科准教授) 「子どもの主体性」や子ども「主体」は、保育所保育指針に言及されているとおり、保育実践にとって重要な概念です。しかし、「子どもの主体性」を尊重した保育がどういふことか具体的に理解しきれないという課題意識を持つ保育者が多いのも事実です。 本コースでは、子どもの「主体性」とはどのようなものかということや子ども「主体性」を尊重した保育を学ぶ、保育者の専門的役割を再考するきっかけとします。

12 参加・旅行プラン (宿泊) のご案内 参加申込から受講までの流れ

参加申込サイト：<https://www.mwt-mice.com/events/hoikushikai230126>

- 1 専用サイトにて、12月23日(金)までにお申し込みください。
※ 申し込み締切は研修会当日の受付までとなります。
- 2 コース別研修は第1希望をご入力ください (所要人数によっては、他方のコースにさせていただきます場合があります)。
- 3 申込完了後、皆様それぞれにメールアドレスに個別に送付した案内メールが送付されます。
※ 送付メールに送付先メールアドレスが異なる場合は、各研修会1週間前までに必ずお申し込みが正確なことを確認してください。
- 4 3の案内から1週間～10日以内に、メールで参加費等の申込先等をお知らせください。
- 5 参加費入金確認後、1日前中夜を目途に「参加費」を送付された住所に届きます。
※ 送付先住所が不明な場合は、必ずお申し込みの際に住所をお知らせください。
- 6 当日、18時30分、研修会会場までお越しください。
- 7 懇話会にて、「参加費」と引き換えに、席料をお渡しします。
※ 研修会の準備・受付・昼飯、および研修会場の清掃・設備等も含まれます。

全国保育士研修会のお知らせです

1月26(木)～27日(金)

場所：新横浜プリンスホテル

久しぶりの参集で行います。

鼎談は脳科学者の池谷裕二先生
詩人で絵本翻訳家の木坂 涼さん
全国保育士会村松幹子会長です。

分科会は

虹色な子どもたちで有名な

星山麻木先生

子ども主体の保育について

川田学先生です。

※すでに半分以上埋まっています

お早めにお申し込みください